

ちょっと待った！ほんとにそれで大丈夫？  
『親なきあと』への正しいお金の残し方

1. いくら残せばいいですか？

なにか質問のある方は  
いらっしゃいますか？

では、  
これで私の話は  
以上です

親なきあとセミナー会場

一般社団法人「親なきあと」相談室  
関西ネットワーク代表理事

藤井 奈緒

子どもの将来のことで  
悩んでいます…

今日  
ありがとうございます  
ございました  
私の子どもは  
知的障がい  
があるんですけど

はい！  
お願いします！

あの…  
質問いいですか？

親なきあとを考えると  
すごく不安で…

いくら残してあげれば  
いいのでしょうか？

子どもが将来お金に  
困らず生活するには

実は私の相談室で  
一番多いのが  
障がいのあるお子さん  
の将来のお金について  
なんです

— ご質問ありがとうございます  
— ありがとうございます

監修



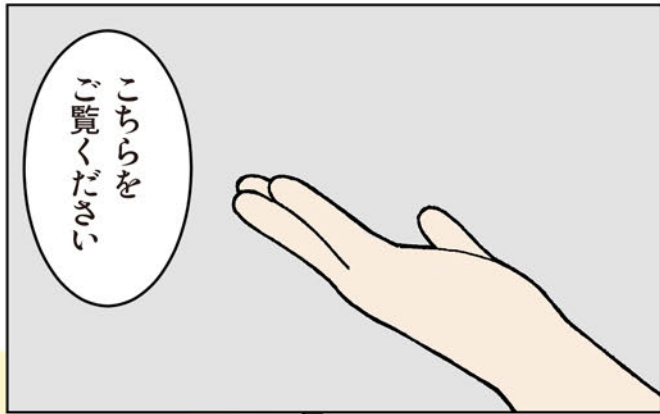
一般社団法人「親なきあと」相談室 関西ネットワーク 代表理事

藤井 奈緒 (ふじい なお) 氏

大阪府在住。重度の知的障がい者である長女と、健常児の次女の母。

『親なきあと』次女一人に、長女の世話を引き受けさせることになるかもしれない状況に危機感を抱き、法的な備えについての勉強を始める。その後、自分と同じように『親なきあと』を心配している障がい者家族が大勢いる事を知り、講演活動を通じて、備えることの重要性和その手段についての情報提供を行っている。

1. いくら残せばいいですか？



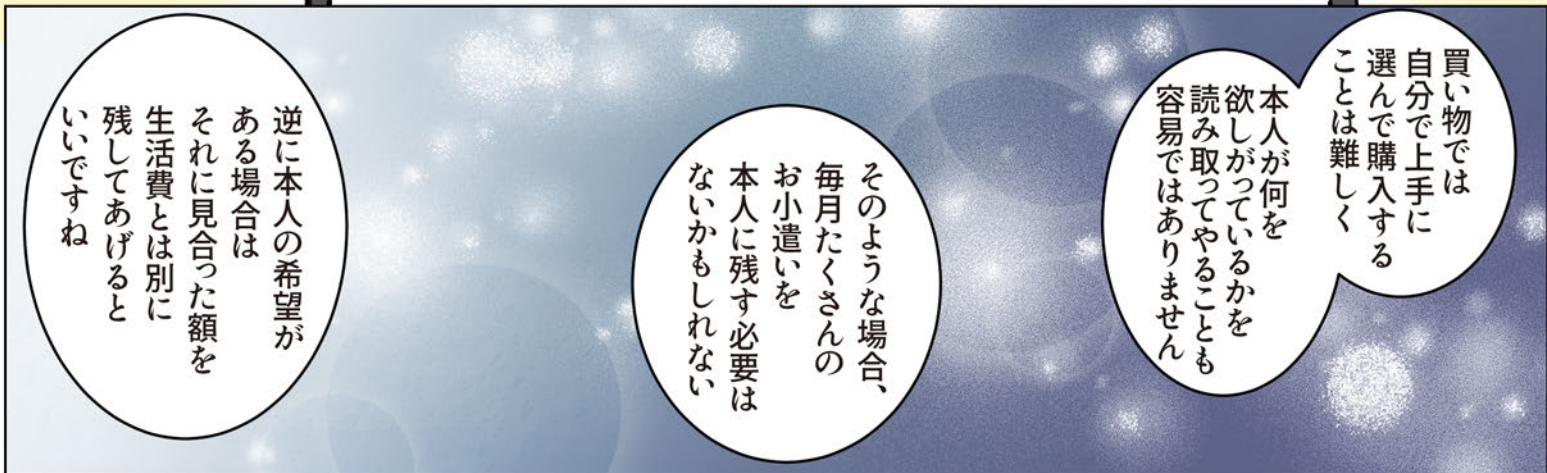
## 7つの項目をチェック

1. お子さまのヶ月あたりの生活費の額
2. 障害年金の受給状況
3. 就労の状況
4. 家族構成や資産状況
5. 将来的な住まいの希望
6. 親が子にどんな暮らしをしてほしいのか
7. 子ども自身がどんな暮らしをしたいのか

——この項目の中で  
特に大切な視点は  
7番だと私は思っています

子ども自身がどんな  
暮らしをしたいのか

例えば我が家の長女は  
最重度の知的障がい  
があります



■ 藤井先生の次回コラムのテーマは  
「どのようにお金を残すか」をお届け予定です！